

○大学入学資格検定規定(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者で、合格当時福島県内に住所を有していた者。

- ③ 経済的理由により、修学が困難であると認められる者であること。
- ④ 学力、収入状態が推薦基準に合致するものであること(重複採用を避けるため、日本育英会が募集している奨学生との併願は認めない)。

**(2) 奨学資金の貸与月額**

区 分	昭和46年度以前採用者	昭和47年度以降採用者
高等学校奨学生 高等専門学校	—	3,000円
大学奨学生	5,000円	7,000円

**(3) 貸与期間**

奨学生の在学する学校の正規の修業期間

**(4) 奨学資金の返還**

卒業の月の6か月後から起算して7年以内に、貸与を受けた奨学資金の全額を半年賦で返還する。なお、利子は無利子とする。

また、貸与期間の満了、退学、奨学資金の借り受け辞退奨学資金貸与制度の廃止の場合も同様とする。

**(5) 募 集**

昭和51年4月15日から5月15日まで募集期間とし、各高等学校、主要大学及び報道機関を通じて広報した。

**(6) 昭和51年度貸与状況**

区 分	継続貸与	新規貸与		計
		応募者数	採用者数	
高等学校 高等専門学校	人 157	人 67	人 63	人 220
大 学	276	99	77	353
計	433	166	140	573

**2 日本育英会奨学制度**

本会は政府からの借入金を主体として、これに返還金、育英寄付金等を加えて運営している国家的育英機関である。各県の教育委員会内に支部があり、県内の中学校、高等学校を対象に奨学金の採用、補導、奨学金の貸与、返還等の各事務を行っている。

**(1) 奨 学 生**

奨学生は、高等学校、高等専門学校、大学及び大学院に在学する生徒・学生その他表1に該当する者で、在学校の校長、学長から推薦された者から採用する。

**(2) 奨学生の採用**

表1のうち県支部が取り扱うのは、高等学校の一般及び特別貸与奨学生の在学採用、並びに高等学校、高等専門学校、大学および教育特別奨学生の予約採用である。

**① 高等学校一般貸与奨学生**

高等学校に在学する生徒で、学業、人物ともにすぐれながら、経済的理由によって修学困難と認められる者で、学校長から推薦された者について、支部選考会を経て採用される。

貸与月額 3,000円～ 6,000円で、募集は4月と9月の年2回である。

**② 高等学校特別貸与奨学生(在学者採用)**

高等学校に在学する生徒で、学業、人物ともにすぐれながら、経済的理由によって修学困難と認められる者で、学校長から推薦された者について、支部選考会を経て採用される。

貸与月額 4,000円～ 8,000円で、募集は4月と9月の年2回である。

卒業後一般貸与奨学生の貸与月額相当額を一定期間内に返還すれば残額は返還免除となる特典がある。

**③ 高等学校、高等専門学校特別貸与(予約)奨学生**

中学校第3学年に在学する生徒で、学業、人物ともに優秀で進学希望を有するが、経済的理由により進学を断念することのないよう、あらかじめ奨学生の予約採用を中学在学中に行い、高校、高専校進学後ただちに本採用となる。貸与月額は高等学校が6,000円～8,000円、高等専門学校は自宅通学者1～3年が6,500円～11,000円、4～5年が8,000円～9,000円、自宅外通学者1～3年が8,000円～11,000円、4～5年が12,000円～16,000円である。

卒業後一般貸与奨学生の貸与月額相当額を一定期間内に返還すれば残額は返還免除となる特典がある。

採用は中学校長の推薦により、面接のうえ支部選考会を経て予約採用される。募集は年1回で4月上旬。

**④ 大学特別(予約)奨学生**

高等学校最高学年に在学、又は卒業後1～3年以内の者で、翌年度に大学を希望する者を対象とする。

貸与月額は自宅通学者が13,000円(私立の場合は15,000円)自宅外通学者が18,000円(私立の場合は23,000円)である。返還免除の特典があり、大学一般奨学生の貸与月額相当額を返還すれば残額を免除し、また免除職(小・中・高校の教諭その他)に一定年限従事すれば全額が免除となる。

採用は、高等学校長の推薦により、面接のうえ支部選考会を経て予約採用される。募集は年1回4月上旬。

**⑤ 教育特別(予約)奨学生**

義務教育教員の資質向上に資するため、将来優秀な教員としての素質を有する学生を国立大学の教員養成学部へ誘致することを目的とする制度。対象は前記④と同様であるが、面接は行わず、高等学校長の推薦により支部選考会を経て予約採用される。

貸与月額は自宅通学者が13,000円、自宅外通学者が18,000円である。④との併願は認めない。

返還免除の特典も④と同じである。募集は年1回4月上旬。

⑥ 特例としてこの適用を受ける私立大学の教員養成を目的とする学部、立正女子大学教育学部、聖徳学園岐阜教育大学教育学部がある。貸与月額は自宅通学者が